



北浦小だより

令和2年7月17日

(HP) <http://www2.sopia.or.jp/kitaurael/>

Hop Step Jump 第13号

ホップ・ステップ・ジャンプ

文責:校長 武田 民弥

「児童主体の活動」の大切さ・・・

「あいさつ隊」の結成と活動を通して

運営委員会の児童があいさつ隊を募集し、あいさつ運動を計画・実行しました。児童が主体となって、学校のため、児童みんなのために取り組んでくれました。募集には高学年だけでなく1年生・2年生も含め、多くの児童が参加してくれました。あいさつ隊の2年生男子児童は、登校して来る児童一人一人に会釈しながら「おはようございます」とあいさつをしていました。見ている私の方がとても温かい気持ちになりました。



児童主体の活動は、児童が中心となって企画・実行するものです。もちろん、先生方に手助けしてもらうこともあるかもしれませんが、今回のあいさつ隊の活動を通して、学校のために自分から行動を起こしたことを友達や先生方から褒められたり、声を掛けられたりした経験は、児童にとっては自信になったことと思います。

社会人として、役割を任せられ、企画・運営をしなければならないことはたくさん出てきます。よく「学校は小さな社会」と言われますが、児童の主体的な活動を推進することは、長い目で見れば社会人としての勉強のスタートともいえるのです。

本校は、今後も児童主体の活動を推進してまいります。御家族の皆様にはサポーターとしてお子様に激励の言葉をお願いします。

20日、月曜日

「幼小中合同引き渡し訓練」へ御協力をお願いします。

過日、九州では大雨・洪水等による災害に見舞われました。地震も茨城・千葉県沖で頻繁に発生しています。いつ何時、予想もしない事態が起こることを想定しなければならない時代です。

月曜日の訓練では、お子様の安全を確保しながら、効率的に引き渡しができるように進めたいと思います。

「自分だけ・我が子だけ」という思いではなく、ルールを守り、児童一人一人が安全に下校できるようにお迎えへの御協力をお願いいたします。



(昨年度の様子)

個別面談 御協力ありがとうございました。

お忙しい時期、個別面談へ御協力いただきましてありがとうございました。学校が通常日課で再開され、約1か月が過ぎました。児童も学校での生活のリズムをつかみ、授業への取組や休み時間の活動など生き生きとした姿が見られるようになりました。今回の面談で確認できましたことを児童一人一人の成長へつなげてまいります。

今後もコロナウイルス感染等の状況によって急な変更等があるかもしれませんが、御理解・御協力の程、よろしくお願いいたします。

『おジャマします 授業拝見』③ 【2年2組担任 ○○ ○○ 先生】

2年2組国語の授業、単元は「スイミー」。「スイミーを紹介しよう」という課題のもと授業が進められていきました。これまで段落ごとにスイミーの会った出来事や周りの様子について確認したことをもとに、まずは「あらすじ」作りです。○○先生から「あらすじ」は「お話を短くまとめて書いたもの」という説明を受け、一人一人が第二段落からあらすじ作りを始めました。○○先生は、児童一人一人の取組の様子を確認しながら、『いいじゃない』『どこの部分をまとめると出来事がわかるかな?』などと助言をしています。児童一人一人はあらすじを書き終えました。最後は、スイミー全体の紹介文作りです。「はじめ・中・終わり」の構成で書くことを確認し、自分がまとめた「あらすじ」を使いながら各自が紹介文を作り始めました。先生が児童のノートをもって、紹介文にまとめるポイントをアドバイス。児童一人一人が生き生きと取り組んでいる姿がとても印象的な授業でした。



○○先生と言えば「韓流ドラマ」。いろいろなドラマをご覧になっているそうです。さらには、ロケ地巡りすることを楽しみにしているそうです。コロナウイルス感染予防のため、ロケ地巡りはしばらく自粛中。今は、マスク作りにはまっています。写真のマスクも手作りだそうです。

